

SSLマネージドサービス管理者ガイド

Version 1.9.0 2024年06月



目次

SSLマネージドサービス申請マニュアル

- (0) 証明書発行オペレーションフロー 3
- (1) SSLマネージドサービス事前登録
 - 1-1 SSLマネージドサービスの有効化 4-7
 - 1-2 タブ『SSLマネージドサービス』の説明 8
- (2) 証明書のお申し込み
 - 2-1 証明書申請 9-10
 - 2-2 サービス選択（企業認証SSL・EVSSL） 11-12
 - 2-3 サービス選択（イントラネットSSL） 13-14
 - 2-4 技術担当者の入力 15
 - 2-5/6/7 申請組織情報/支払方法の選択/
申請内容の確認 16
- (3) 証明書管理
 - 3-1 証明書の検索とレポートのエクスポート 17
 - 3-2 証明書編集画面 18
 - 3-3/4 証明書再発行/証明書失効申請 19
 - 3-5/6 キャンセル申込/証明書再申請 20
 - 3-7 契約者更新 21
 - 3-8 SANオプション変更 22
- (4) プロファイル管理
 - 4-1 ドメイン名登録 23
 - 4-2 プロファイル編集 24
 - 4-3 ドメイン名登録(追加) 25-27
 - 4-4 ドメイン認証方法の変更 27
 - 4-5 ドメインの更新（再認証） 28-31
 - 4-6 EVへのアップグレード（プロファイル） 32
 - 4-7 パブリックオーダーURL指定 33-34
 - 4-8 ドメインごとのユーザ権限を設定する 34
- (5) 申し込み確認待ち証明書一覧
 - 5-1 承認待ち証明書 35
- (6) ユーザ管理
 - 6-1 ユーザ管理 36-37
- (7) サーバ証明書まとめ買い
 - 7-1 サーバ証明書まとめ買い 38-39

0. 証明書発行オペレーションフロー

お客様

グローバルサイン

- GSパネルから
- ① 企業情報（プロフィール）の登録
 - ② ドメイン登録及び認証

電話による確認

申し込み内容のご回答

GSパネルまたはAPI経由
で証明書のお申し込み

オーダー受付

証明書取得

証明書発行

1.SSLマネージドサービス事前登録

1-1 SSLマネージドサービスの有効化

GSパネルへログイン後、タブ『SSLマネージドサービス』選択後、「SSLマネージドサービスを有効化」ボタンを押してください。

GS パネル管理と経理 | サーバ証明書 (EDI-サブドメイン証明書を含む) | **SSLマネージドサービス** | その他証明書 (ロードバランジング、PDF) | マネージドPKI

SSLマネージドサービス | **SSLマネージドサービス・ホーム**

Notes: SSLマネージドサービスを有効化するにはこちらをクリックして下さい。
ご不明な点がございましたらこちらからお問い合わせください。

企業認証SSLとEV証明書を多数管理していませんか？

SSLマネージドサービスを利用すると、複雑な申請の必要がなくなります。

- 事前審査による即時発行。
- 複数プロファイル管理(グループ企業範囲内)。
- パブリックオーダーURLの利用(GSパネルにログインせずに申請可能)。
- ユーザーごとに権限の設定、証明書検索、申請の承認など簡単に操作可能。
- 複数のドメインも登録可能。

SSLマネージドサービスを有効化

【プロフィール登録】

審査レベルをご選択ください。EV SSLは、企業認証SSLよりも事前審査が厳格で、EV SSLと企業認証SSLのどちらも発行が可能となります。
ディステイングイッシュネームの項目に、利用される企業の情報をご入力ください。

SMS プロファイル登録

審査レベル

企業認証SSL

※企業認証SSLの審査レベルで登録した後でもEV SSLの審査レベルにアップグレードすることが可能です。

EV SSL

ディステイングイッシュネーム

※必須項目

組織名 (O):*	GMO Globesign K.K.	半角英数
部署名 (OU):	Sales	
市区町村 (L):*	Shibuya	半角英数
都道府県 (S):*	Tokyo	半角英数
国 (C):*	日本 - JP	

i ディステイングイッシュネームとは、CSRに含まれる、サイトやサイト運営団体に関わる情報です。

ご注意:

※全て英語で入力してください。
※MSSLで発行される証明書のSubjectDN情報のうち、上記項目はCSRの内容に関わらず全て上記で設定した内容になります。

1.SSLマネージドサービス事前登録

前ページのディスティングイッシュネームで登録した情報は、以下のサイトシール情報へ引き継がれます。その他の情報については、任意でのご登録となります。
第三者データベース情報は、帝国データバンクコードまたはDUNSナンバーをご記入ください。

サイトシール情報

組織名(英語):
組織名(○)と同じ

国:
国(○)と同じ

都道府県(英語):
都道府県(S)と同じ

市区町村(英語):
市区町村(L)と同じ

番地、地名(英語): 半角英数

ビル名(英語): 半角英数

→ サイトシールには表示されません。

第三者データベース情報: 半角数字

※お持ちの方のみ、ご入力ください。
※[帝国データバンクコード検索](#)
※[D-U-N-S® Number検索](#)

備考

1.SSLマネージドサービス事前登録

審査レベルでEV SSLを選択された場合は、以下の情報をご登録ください。

申請内容

組織名(英語):*	<input type="text" value="例) GlobalSign K.K"/>
組織名(日本語):*	<input type="text"/>
部署名(英語):	<input type="text" value="例) Sales"/>
事業種別:*	<input type="text" value="法人"/>

：登記事項証明書にある名称、または職員録に登録のある正式組織名を入力してください。法人とは、営利法人・非営利法人・公的法人を指します。公共団体とは法人格を持たない国や地方公共団体などを指します。

法人設立/登録管轄地

国:*	<input type="text" value="日本 - JP"/>
登録番号:*	<input type="text" value="例) 0110-01-0410181"/>

： 法人の場合、会社法人等番号を入力ください。

登録番号は、登記事項証明書または印鑑証明書にある会社法人等番号をご登録ください。シリアル番号として証明書に表示されます。ご不明な場合は0000-00-0000000とご登録ください。

事業所所在地

： 申請組織の物理的存在及び事業の存在がある住所をご入力ください。

入力項目：国/郵便番号/都道府県（英語・日本語）/市区町村（英語・日本語）/番地、地名（英語・日本語）/ビル名（日本語）/電話番号/FAX番号/屋号（日本語）/第三者データベース情報

※太字が必須項目です。

証明書申請者/証明書承認者

： 契約者情報が反映されます。

入力項目：組織名（英語）/組織名/部署名/役職

※太字が必須項目です。

契約書署名者

：申請組織の課長職相当以上で利用規約同意書に署名をいただく従業員をご入力ください。

入力項目：組織名（英語）/組織名/部署名/役職/氏名（姓）ローマ字/氏名（名）ローマ字/氏名（姓）/氏名（名）/電話番号/メールアドレス

※太字が必須項目です。

※部署名がない場合は「なし」とご記載ください。

サイトシール情報

： これまで入力した情報が反映されます。

1.SSLマネージドサービス事前登録

【ドメイン名登録】

取得されるサーバ証明書のドメイン名をご登録ください。
なお、ドメインの追加は、プロファイル情報登録完了後にもGSパネル内で行えます。

ドメイン名

次へ

以後に発生するドメイン認証をどの方法で実施するかによって、ドメインの登録方法が異なります。
メール認証またはDNS認証の場合…親ドメイン
ページ認証の場合…FQDN

※2021年11月28日より、ページ認証で認証されたドメインはワイルドカード証明書の発行に利用できません。また、ページ認証で認証された親ドメインは、子ドメイン（サブドメイン）の証明書の発行に利用できず、各FQDN（サブドメイン）ごとの認証が必要となります。



- ①example.jp.globalsign.com
- ②jp.globalsign.com
- ③*.jp.globalsign.com
- ④*.globalsign.com

- ・メール認証およびDNS認証の場合、ドメイン「globalsign.com」を登録、認証することで①～④全ての発行に利用できます。
- ・ページ認証の場合、①②それぞれで認証が発生いたします。
③④はいずれも発行することができません。

ドメイン登録後、登録内容確認画面表示されます。
確認後「完了する」ボタンを押すと申請完了となります。

この後、お客様側でドメイン認証を行う必要があります。
審査完了後、証明書申請が可能になります。
ステータスの詳細はプロファイル管理画面からご確認ください。
※ドメイン認証については25ページよりご参照ください。

1.SSLマネージドサービス事前登録

1-2 タブ「SSLマネージドサービス」の説明

SSLマネージドサービスのタブを開くと、下記の画面が表示されます。
それぞれの意味や使い方について番号の説明をご確認ください。

- A「更新可能な証明書」**：更新可能期間となった証明書の枚数が表示されます。
※証明書の更新可能期間は、証明書の有効期限日から90日前～期限当日までを指します。
- B「更新が必要なドメイン」**：再認証が可能となったドメインの数が表示されます。
※前回の認証情報の期限90日前からいつでも再認証が可能です。
- C「管理者承認」**：証明書の「承認権限」を持たないユーザから申請された証明書、管理者が「承認権限」を持つユーザによる承認が必要な証明書の枚数が表示されます。

※各項目に表示されている数字が「1」以上の場合、項目をクリックしてお進みいただければ、証明書の更新・ドメインの再認証・申請された証明書の承認などの各作業が行えます。

- ①「**証明書申込**」：SSLマネージドサービスの証明書の申請を行えます。
詳細は9ページ以降をご参照ください。
- ②「**ドメイン名登録**」：未登録のドメインを登録できます。
詳細は24ページをご参照ください。
- ③「**ドメイン管理**」：申請したドメインの一覧が表示されます。
- ④「**その他**」：「プロフィールの申請」、「パブリックオーダーURLの設定」「申請書を印刷する」、また、OVのプロフィールでは「EVへのアップグレード」が行えます。
詳細は34ページをご参照ください。
- ⑤「**証明書の検索とレポートのエクスポート**」：SSLマネージドサービスを利用した申請・発行済みの証明書の検索と、CSV形式でのレポート出力ができます。
- ⑥「**ドメインの検索とレポートのエクスポート**」：審査中・審査済みのドメインの検索と、CSV形式でのレポート出力ができます。
- ⑦「**SANの使用状況を表示する**」：SANとして追加されているFQDNの使用状況が確認できます。
- ⑧「**プロフィールステータス確認**」：「利用可」の場合、SSLマネージドサービスの証明書の申請を行えます。「利用可」以外のステータスの場合、審査に対応ください。

2. 証明書のお申し込み

2-1 証明書申請

GSパネル上から証明書を申し込む場合は、必ずページ上部のタブ『SSLマネージドサービス』から手続きをお進めください。

The screenshot shows the GS SSL Manager dashboard. At the top, there are navigation tabs: 'GSパネル管理と経理', 'サーバ証明書 (EDI・サーバ連携証明書を発行)', 'SSLマネージドサービス' (highlighted with a red box), and 'その他証明書 (コードサインング・PDF)'. Below the tabs, the main heading is 'SSLマネージドサービス ダッシュボード'. On the left, there is a sidebar with 'SSLマネージドサービス' and '管理ガイド' sections. The main content area features three green status cards: '更新可能な証明書' (0), '更新が必要なドメイン' (0), and '管理者承認' (0). To the right of these cards are three buttons: '証明書の検索とレポートのエキスポート', 'ドメインの検索とレポートのエキスポート', and 'SANの使用状況を表示する'. Below the status cards is a panel for the account 'GMO GlobalSign K.K.' with details: 'プロファイルID: 55739_5M52_000110', 'OU: L: Shibuya, S: Tokyo, C: 日本 - JP'. At the bottom of this panel is a menu with '証明書申込' (highlighted with a red box), 'ドメイン名 登録', 'ドメイン管理', and 'その他'. A green bar at the bottom of the dashboard indicates 'OV - 利用可'.

赤枠の証明書申込をクリックします。

2. 証明書のお申し込み

2-2 サービス選択（企業認証SSL・EVSSL）

サービス、契約期間、オプションの有無、乗り換えや更新などのお申し込み種別をご選択いただき、金額をご確認の上、次のページへお進みください。

サービス内容選択

サービス

- SSLマネージドサービス(企業認証SSL)

- SSLマネージドサービス(EV SSL)

以下のいずれかの理由で申請を完了することができません。

- ・当該ドメインに対する申請権限がない → 管理者にて権限の変更を行なってください。
- ・当該ドメインのEVの審査が終わっていない → ドメインのEVの審査を完了させてください。
- ・当該ドメインの認証情報の有効期限が切れている → プロファイルから当該ドメインの削除と再登録をし、事前審査を完了させてください。

- イン트라ネットSSL

キャンペーン/クーポンコード

キャンペーン/クーポンコードをお持ちの場合

- 使用しない
- 使用する

コモンネームオプション

- 無し

- ワイルドカード

「*.globalsign.com」のようにコモンネームなし、1枚の証明書で対応を可能とするオプション

- グローバルIP

「211.11.149.149」のようにコモンネームなし、1枚の証明書で対応を可能とするオプション

- コモンネームオプション（企業認証SSLのみ対象）

証明書申請後にコモンネームオプションを変更することはできません。

【ワイルドカード】

ドメインが同一で、サブドメインが異なる複数の証明書を1枚にまとめることができるオプションです。

※携帯電話（フィーチャーフォン）には対応しておりません。

※証明書が「*.example.com」で発行されている場合、「https://example.com/」でも

利用可能です。

※証明書が「*.example.com」で発行されている場合、Internet Explorerで「https://www.sub.example.com/」にアクセスすると警告が表示されます。この場合、証明書は、「*.sub.example.com」で取得いただく必要があります。

※Windows IISをご利用の場合、同一IPアドレスで複数サイトに対してワイルドカードを適用させるには、IIS6+ ServicePack1以降の環境が必要です。

【グローバルIP】

グローバルIPアドレスをコモンネームに指定することができるオプションです。グローバルIPアドレスでウェブページにアクセスした際に警告が出ることなくSSL暗号化通信が行えます。

※ドメインの事前登録にて、グローバルIPアドレスを登録する必要があります。

※JPNIC（社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター）により法人に割り当てられたアドレスが対象になります。プライベートアドレスにはご利用いただけません。

※グローバルIPアドレスの所有者と利用者が異なる場合は、グローバルIPアドレス所有者からの許可が必要です。

※グローバルIPアドレスによる証明書は、グローバルIPアドレスを指定して発行された証明書ですので、FQDNで接続した場合は「名前が無効であるか、またはサイト名と一致しません」という警告メッセージが表示されます。

2. 証明書のお申し込み

キャンペーン/クーポンコード

キャンペーン/クーポンコードをお持ちの場合は、「使用する」を選択してください。

- 使用しない 使用する

キャンペーン、クーポンコードをお持ちの場合は「使用する」を選択してください。
クリックするとコード入力欄が表示されます。

コモンネームオプション

- 無し
- ワイルドカード
「*.globalsign.com」のようにコモンネームにアスタリスクを指定することで、複数のサブドメインに対し、1枚の証明書で対応を可能とするオプションです。詳しくは[こちら](#)
- グローバルIP
「211.11.149.149」のようにコモンネームにグローバルIPの指定を可能とするオプションです。詳しくは[こちら](#)

【ワイルドカード】
ドメインが同一で、サブドメインが異なる複数の証明書を1枚にまとめることができるオプションです。
【グローバルIP】
「IPアドレス」をコモンネームにすることができるオプションです。

契約期間

- 半年 ￥0
- 1年 ￥59800

【SAN (サブジェクトの別名) オプション】

企業認証SSL・EV SSLの中に複数のFQDNを別名として格納させるオプションです。
※オプションにて追加できるFQDNのドメインは事前審査が完了している必要があります。
完了していない場合は、先にドメインの登録・審査を行ってください。
※SANオプションで追加したFQDNにフィーチャーフォンでアクセスした場合はSSL通信が正常にできないことがあります。
※SANオプションで追加可能なFQDNは最大500個です。
「申込可能なSANの種類を表示します。」こちらをクリックするとSANオプションの詳細が表示されます。

SAN (サブジェクトの別名) オプション

SAN (Subject Alternative Names-サブジェクトの別名) とは、証明書のコモンネームとは別にFQDNやサーバ名を設定できる証明書の拡張領域のことです。SANオプションを希望する場合は、「使用する」にチェックしてください。[申込可能なSANの種類を表示します。](#)

- 使用しない 使用する



SANを追加する事により、証明書は他のドメイン名、サブドメイン等の他の領を保護する事ができます。

更新

更新の場合は、「はい」を選択し利用中の証明書を入力ください。前回と同じアカウントでお申し込みの場合は、「証明書一覧」の「更新申請」ボタンからお申し込みください。

- いいえ はい

更新をチェックすると更新元証明書の情報入力ボックスが表示されます。
オーダーIDまたは証明書情報をご用意ください。

期間カスタマイズ

- なし
- 期間カスタマイズにて有効期間終了日を

【期間カスタマイズ】

証明書の有効期間内で終了期限を調整することができるオプションです。
※終了日を指定しない場合、開始日（証明書の発行日）より最長となる期限の証明書が発行されます。

2. 証明書のお申し込み イン트라ネットSSL

2-3 サービス選択（イントラネットSSL）

サービス、契約期間、オプションの有無、乗り換えや更新などのお申し込み種別などをご選択いただき、金額をご確認の上、次のページへお進みください。

サービス内容選択

サービス

- SSLマネージドサービス(企業認証SSL)
- SSLマネージドサービス(EV SSL)

スキップによる申請はこちらの製品と互換性がありません。申込画面に戻り、証明書署名要求（CSR）を提出する必要があります。

- イン트라ネットSSL

コモンネームオプション

- 無し
- ワイルドカード
「*.globalsign.com」のようにコモンネームで、1枚の証明書で対応を可能とするオプションです。
- プライベートIPアドレスまたは
10.1.1.1などの単一の内部IPアドレスを指定するオプションです。

●コモンネームオプション

イントラネットSSLではプライベートIPアドレス、イントラネット名、ワイルドカードが選択できます。

【ワイルドカード】

ドメインが同一で、サブドメインが異なる複数の証明書を1枚にまとめることができるオプションです。注意点に関しては企業認証SSLと同様です。

【プライベートIPアドレス、イントラネット名】

「プライベートIPアドレス、イントラネット名」をコモンネームとすることができるオプションです。

※JPNIC（社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター）により法人に割り当てられたアドレスは対象となりません。プライベートアドレスにのみご利用できます。

署名ハッシュアルゴリズム

- SHA256
- SHA-1
- ECC P-256

契約期間

- 半年
- 1年
- 2年
- 3年
- 4年
- 5年

2. 証明書のお申し込み イントラネットSSL

SAN(サブジェクトの別名)オプション

SAN(Subject Alternative Names-サブジェクトの別名)とは、証明書のコモンネームとは別にFQDNやサーバ名を設定できる証明書の拡張領域のことです。SANオプションを希望する場合は、「使用する」にチェックしてください。

使用しない

【SAN (サブジェクトの別名) オプション】

契約期間を確定すると、こちらのオプション画面が表示されます。

同一証明書に複数のFQDNやイントラネット名を別名として格納させるオプションです。

※「マルチドメインオプション」にて追加できるFQDNのドメインは事前審査が完了している必要があります。完了していない場合は、先にドメインの登録・審査を行ってください。

※SANオプションで追加可能なFQDNは最大500個です。

※イントラネットオプションは、イントラネットSSLでのみ利用可能なSANオプションで、SANにイントラネット名やプライベートIPアドレスを登録することができます。イントラネットオプションで追加されたものは審査することなく発行されます。

更新

更新の場合は、「お申し込み」の「更新」をクリックしてください。

いいえ はい

金額

更新をチェックすると更新元証明書の情報入力ボックスが表示されます。オーダーIDまたは証明書情報をご確認ください。

※イントラネットSSLでは、サイトの運営側やクライアント側も含め、すべての環境にルート証明書を個別に配付しない限り、信頼できない旨の警告メッセージが表示されます。フィーチャーフォンやスマートフォンの環境でも同様です。

2. 証明書のお申し込み

2-4 技術担当者情報の入力

技術担当者情報をご入力ください。

技術担当者様が登録済みユーザの場合は、「自動入力」ボタンを押してユーザを選択してください。登録情報が自動で入力されます。

技術担当者情報

自動入力

ユーザ: 山田 太郎

自動入力

技術担当者は、サーバ証明書の申請手続き担当者を示します。

※契約者組織と異なる組織の方を登録することも可能です。

技術担当者が契約者と同じ場合は「自動入力」をご利用ください。

※ 必須項目

氏名(姓): * 例) 山田

氏名(名): * 例) 太郎

氏名(姓)ローマ字: * 例) Yamada 半角英数

氏名(名)ローマ字: * 例) Taro 半角英数

電話番号: * 例) 03-4444-5555 半角英数

メールアドレス: * 例) taro.yamada@globalsign.co.jp 半角英数

組織名:

部署: 例) 営業部

メール送信先に指定:

- ・更新のご案内
契約者ユーザ情報のメールアドレスにも同様のメールが送信されます。
チェックされない場合は、契約者様|のみメールが送信されます。

2. 証明書のお申し込み

2-5 申請組織情報

入力された申請組織情報をご確認ください。

2-6 支払方法のご選択

お支払い方法をご選択ください。

※クレジットカード または 銀行振込（後払い）から選択いただけます。

2-7 申請内容の確認

申請内容に誤りがなければ、利用規約をご確認の上「同意する」にチェックを入れ、「完了する」ボタンを押してください。

お申し込みありがとうございました。申請が完了しました。

オーダーIDは、CEPO1408123080です。

GSパネルにログイン後、「証明書一覧」より現在のステータス等、詳細な情報をご確認いただけます。

以上でお申し込み完了です。証明書は即時発行されます。

※お申し込み手続きをされたユーザーが承認権限を持たない場合、承認権限を持つユーザーによる承認後、証明書が発行されます。詳細は35ページをご確認ください。

ご申請ありがとうございました。

3. 証明書管理

3-1 証明書の検索とレポートのエクスポート

申請済み証明書の一覧画面です。

該当のコモンネームの左側に「編集」「再発行」「失効」「証明書取得」のボタンが表示されます。それぞれのボタンを押すことで各種手続きを行えます。

GSパネル管理と経理 | サーバ証明書 (EDI・ヤフー提携証明書を含む) | SSLマネージドサービス | その他証明書 (コードサイニング・PDF) | マネージドPKI

SSLマネージドサービス

SSLマネージドサービス ダッシュボード

ツール

CSR解析ツール

管理者ガイド

SSLマネージドサービス
管理者ガイド

0
更新可能な
証明書

0
更新が必要
なドメイン

0
管理者承認

証明書の検索とレポートのエクスポート

ドメインの検索とレポートのエクスポート

SANの使用状況を表示する

GSパネル管理と経理 | サーバ証明書 (EDI・ヤフー提携証明書を含む) | SSLマネージドサービス | その他証明書 (コードサイニング・PDF) | マネージドPKI

SSLマネージドサービス

証明書検索

ツール

CSR解析ツール

管理者ガイド

SSLマネージドサービス
ス管理者ガイド

検索条件を入力し、検索ボタンを押してください。検索ボタンのみを押した場合は、全てのお申し込み情報が表示されます。

検索条件: CEDW12487590097y/GlobalSign

簡易検索

申請日: [選択] 期限設定: [選択] [例] yyyy/mm/dd [例] yyyy/mm/dd

全ての契約者: [選択] 全ての証明書オーダーステータス: [選択] 全てのサービス: [選択]

マルチドメインオプション: [選択]

SMS以外を含める

検索

表示件数: 10

1 - 10 / 19

CSR/D

CSR/D(オーダー詳細)

SAN(検索(オーダーID+SAN))

< 12 戻す >

	オーダーID	組織名	コモンネーム	サービス名	公開情報	ハッシュアルゴリズム	契約者	証明書オーダーステータス	証明書ステータス	申請日 (GMT+09:00)	発行日 (GMT+09:00)	有効期限終了日 (GMT+09:00)		
編集	再発行	失効	証明書取得	RP018101733997	株式会社	example.com	SSLマネージドサービス(企業SA 異種(ESSL))	SHA256	PAR	発行済み	発行済み	2018年10月17日 16:57	2019年10月17日 16:59	2019年10月18日 16:59

3. 証明書管理

3-2 証明書編集画面

編集



再発行



失効



証明書

証明書の管理が行えます。

【オーダーサマリ】のタブでは「証明書再発行」「証明書失効申請」「キャンセル申込」「証明書再申請」「契約者更新」「SANオプション変更」が行えます。

その他のタブでは、「オーダー詳細」「担当者情報」「メール送信一覧」「操作履歴」の確認が可能です。

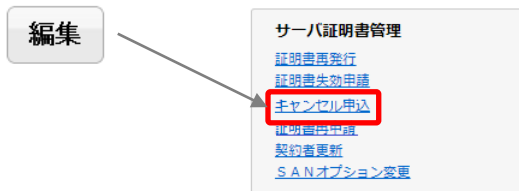
CEPO181017039967のオーダー情報

オーダーサマリ	オーダー詳細	担当者情報	メール送信一覧	操作履歴																				
<table border="1"> <tr> <td>コモンネーム(CN):</td> <td>sample.com</td> </tr> <tr> <td>組織名:</td> <td>sample</td> </tr> <tr> <td>証明書オーダーステータス:</td> <td>発行済み</td> </tr> <tr> <td>サービス名:</td> <td>SSLマネージドサービス(企業認証SSL)</td> </tr> <tr> <td>金額:</td> <td>¥0</td> </tr> <tr> <td>有効期間開始日:</td> <td>2018年10月17日 16:59(GMT+09:00)</td> </tr> <tr> <td>有効期間終了日:</td> <td>2019年10月18日 16:59(GMT+09:00)</td> </tr> <tr> <td>契約者</td> <td>山田 太郎</td> </tr> <tr> <td>証明書更新期限通知:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	コモンネーム(CN):	sample.com	組織名:	sample	証明書オーダーステータス:	発行済み	サービス名:	SSLマネージドサービス(企業認証SSL)	金額:	¥0	有効期間開始日:	2018年10月17日 16:59(GMT+09:00)	有効期間終了日:	2019年10月18日 16:59(GMT+09:00)	契約者	山田 太郎	証明書更新期限通知:	<input checked="" type="checkbox"/>	備考					<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>サーバ証明書管理</p> <p>証明書再発行</p> <p>証明書失効申請</p> <p>キャンセル申込</p> <p>証明書再申請</p> <p>契約者更新</p> <p>SANオプション変更</p> </div>
コモンネーム(CN):	sample.com																							
組織名:	sample																							
証明書オーダーステータス:	発行済み																							
サービス名:	SSLマネージドサービス(企業認証SSL)																							
金額:	¥0																							
有効期間開始日:	2018年10月17日 16:59(GMT+09:00)																							
有効期間終了日:	2019年10月18日 16:59(GMT+09:00)																							
契約者	山田 太郎																							
証明書更新期限通知:	<input checked="" type="checkbox"/>																							
備考																								
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px 10px; display: inline-block;">更新</div>																								
証明書ダウンロード Base64ダウンロード PKCS#7ダウンロード																								

[<< 戻る](#)

3. 証明書管理

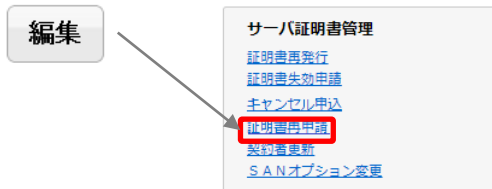
3-5 キャンセル申込（証明書申請日～証明書発行後7日以内）



「キャンセル申込」を押すと、オーダー情報が表示されます。
 【確認】ボタンを押し、【完了】ボタンを押すと申し込んだ証明書をキャンセルできます。
 キャンセル完了後に、キャンセルを取り消すことはできませんのでご注意ください。



3-6 証明書再申請（証明書申請日～証明書発行後7日以内）

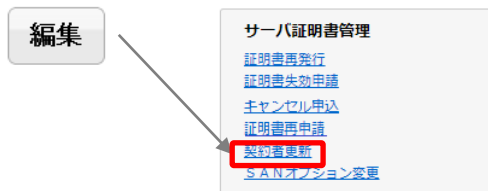


証明書の“キャンセル”と“申請のやり直し”を同時に行う方法です。
 申請内容の一部を変更し、新たなオーダーとしてご申請いただけます。

「証明書再申請」を押すと、お申し込み画面へ移動いたします。
 【サービス内容選択】→【技術担当者情報】→【CSR貼り付け画面】→【支払方法】の
 流れで画面が表示され、それぞれ内容の変更が可能です。
 元のオーダーは自動キャンセルされます。

3. 証明書管理

3-7 契約者更新



同アカウント内で複数のユーザ登録を行っている際、契約者の変更が可能です。登録されているユーザが、プルダウンで表示されます。

契約者変更

組織名: GMOグローバルサイン株式会社

部署名:

氏名(姓)ローマ字: Yamada

氏名(名)ローマ字: Taro

電話番号: 03-5728-1551

メールアドレス: ***** @globalsign.com

国名:

変更先ユーザー: 山田 花子 ▼

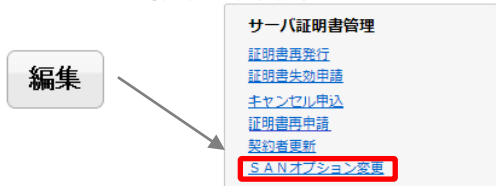
山田 花子

山田 SSL

戻る 確認

3. 証明書管理

3-8 SANオプション変更



マルチドメインオプションの追加や削除を行えます。

マルチドメインオプションとは、企業認証SSLやEV SSLの中に複数のFQDNを別名として格納させるオプションです。

※オプションにて追加できるFQDNのドメインは事前審査が完了している必要があります。完了していない場合は、先にドメインの登録・審査を行ってください。

オプション追加

キャンペーン/クーポンコード

キャンペーン/クーポンコードをお持ちの場合は、「使用する」を選択してください。

使用しない 使用する

SAN (サブジェクトの別名) オプション

SAN (Subject Alternative Names-サブジェクトの別名) とは、証明書のコモンネームとは別にFQDNやサーバ名を設定できる証明書の拡張領域のことです。SANオプションを希望する場合は、「使用する」にチェックしてください。 [申込可能なSANの種類を表示します。](#)

```
*.ssl24.jp
test1.ssl24.jp
www.ssl24.jp
```

まとめ

入力したSANのチェック

発行される証明書は以下のアドレスで利用可能です

コモンネームtest.ssl24.jp
2way(無料)test.ssl24.jp
サブドメインtest1.ssl24.jp
ワイルドカード*.ssl24.jp
ユニファイドコミュニケーションwww.ssl24.jp

お申し込み内容確認後、支払方法をご選択ください。SSLサーバ証明書利用規約の同意するにチェックを入れ、「完了する」のボタンを押すとお申し込み完了です。

4. プロファイル管理

4-1 ドメイン名登録

申請するコモンネームのドメインが未登録の場合は、**証明書申請の前に**こちらの画面からドメイン名登録を行ってください。

SSLマネージドサービス ダッシュボード

The screenshot shows the SSL Managed Service Dashboard. On the left, there are three green cards: '0 更新可能な証明書' (0 Updatable Certificates), '0 更新が必要なドメイン' (0 Domains needing update), and '0 管理者承認' (0 Admin Approval). On the right, there are three buttons: '証明書の検索とレポートのエクスポート' (Export Certificate Search and Report), 'ドメインの検索とレポートのエクスポート' (Export Domain Search and Report), and 'SANの使用状況を表示する' (Display SAN Usage). Below these is a profile card for 'GMO GlobalSign K.K.' with details: 'プロファイルID: 35739_SMS2_000110', 'O: GMO GlobalSign K.K.', 'OU:', 'L: Shibuya', 'S: Tokyo', 'C: 日本 - JP'. At the bottom of the profile card is a navigation menu with icons for '証明書申請' (Certificate Application), 'ドメイン名登録' (Domain Name Registration), 'ドメイン管理' (Domain Management), and 'その他' (Others). The 'ドメイン名登録' icon is highlighted with a red box. Below the navigation menu is a green bar with the text 'OV - 利用可' (OV - Available).

ドメイン登録をクリックすると、以下のポップアップ画面が表示されます。
ドメイン名を記載して申請を行ってください。審査完了後、証明書の申請が可能となります。

ドメイン申請

登録するドメイン名を入力してください。

O: Globalsign.K.K
L: Shibuya-ku
S: Tokyo
C: Japan

メール認証とDNS認証をご利用の場合、example.comのような親ドメインのみを登録してください。親ドメイン認証後、サブドメインを含む証明書を発行することが可能です。

ページ認証をご利用の場合、証明書のコモンネームと同一のFQDNを登録してください。
2way(<https://jp.globalsign.com/support/faq/583.html>) をご希望の場合は、www.ありなし両方のドメインを登録の上、認証してください。

ドメイン名

次へ

4. プロファイル管理

4-2 プロファイル編集

登録済みプロファイル情報を変更いただけます。

SSLマネージドサービス ダッシュボード

The dashboard displays three green cards with counts: '更新可能な証明書' (0), '更新が必要なドメイン' (0), and '管理者承認' (0). Below these are buttons for '証明書の検索とレポートのエクスポート', 'ドメインの検索とレポートのエクスポート', and 'SANの使用状況を表示する'. A profile card for 'GMO GlobalSign' is shown with details: 'プロファイルID: 44158_SMS2_2859', 'O: GMO GlobalSign', 'OU: L: Shibuya, S: Tokyo, C: 日本 - JP'. At the bottom of the profile card are icons for '証明書申込登録', 'ドメイン名登録', 'ドメイン管理', and 'その他' (highlighted with a red circle). A green bar at the bottom indicates 'OV - 利用可'.

その他にカーソルを合わせプロファイル編集をクリックすると、以下のポップアップ画面が表示されます。プロファイル情報を変更後、申請を行ってください。審査完了後、証明書の申請が可能となります。

The pop-up menu is titled '***' and contains four options: 'プロフィール編集' (highlighted with a red rounded rectangle), 'パブリックオーダーURL設定', 'EVへのアップグレード', and '申請書を印刷する'.

※変更の際には再度審査が発生いたします。
 ※変更をせずに「確認」→「完了する」と進めた場合も審査が発生した場合と同様になり、審査済みのプロファイルがロックされ、一時使用不可となります。

プロフィール編集

プロフィールの変更を行う場合、再度審査が必要です。審査完了まで証明書は発行することができなくなりますので、変更のない場合はご注意ください。

* 必須項目

国:

都道府県: 半角英数

市区町村: 半角英数

組織名: 半角英数

部署名:

ご注意

※全て半角英数で入力してください。

※上記項目で登録した内容は、証明書の申請時に入力したCSRの内容にかかわらず、すべて上記で登録した内容に上書きされて発行されます。

4. プロファイル管理

4-3 ドメイン名登録（追加）

一旦、手動でドメインが登録されると、ドメインの追加にともない、

【メール認証、ページ認証、DNS認証】の中からお好きな方法で認証を行うことができます。審査が完了しますと、登録済みのドメインから証明書の申込が行えるようになります。

審査したドメインでの証明書発行可能期間は397日間となります。
期間終了後にも証明書の発行をご希望の場合は、ドメインの再認証が必要となります。
詳しくは28ページよりご覧ください。

【メール認証】

ドメインの管理者または管理者とみなされる方へメールを送信し、ドメイン利用権を確認する方法です。

ドメイン名（IPアドレス）使用許諾メールの送信先を以下のドメイン名（IPアドレス）使用許諾メールアドレスのいずれかより、ご指定ください。

メール認証

メール認証では、ドメイン所有者のみが受信可能と設定されるメールアドレスへ弊社から承認メールを送信し、ドメイン所有者に承認作業を行っていただくことでMSLのドメインの認証を行います。

WHOISのメールアドレス

- 承認メールアドレスは、下記選択の中から任意のものをご選択ください。
 - 次ページ(支払い方法入力画面)の「メモ欄」に、【Whoisに記載のあるメールアドレスxxxx@xxxxxxxx.xxを承認メールに利用します】とご記入ください。
- 【WHOIS登録情報の修正が必要な場合】
 WHOIS情報の変更につきましては、お客様が登録されたドメイン事業者へお問い合わせください。

ドメインのメールアドレス

- admin@testesfl.com
- administrator@testesfl.com
- hostmaster@testesfl.com
- postmaster@testesfl.com
- webmaster@testesfl.com

【DNS認証】

DNSサーバのTXTレコードに、グローバルサインが指定する文字列を追加いただくことで、ドメイン（コモンネーム）の利用権を確認する方法です。

認証文字列は、DNSによる認証を選択後、GSパネル上で確認が可能です。

DNS認証

DNS認証では、DNSサーバのTXTレコードにグローバルサインが指定する文字列を登録いただくことでネットワーク管理権限を確認し、証明書発行のための認証を行います。
当該DNSが外部からアクセスできる状態であることをご確認ください。

お申し込み完了後にグローバルサインより提供される文字列をTXTレコードに登録してください。

文字列を挿入するTXTレコード

コモンネームがwwwから始まる場合 例) www.example.com
 以下いずれかのTXTレコードに指定の文字列をご設定ください。

- www.example.com
- example.com

コモンネームが*から始まる場合(ワイルドカード) 例) *.example.com
 以下いずれかのTXTレコードに指定の文字列をご設定ください。

- *.example.com

コモンネームがwwwおよび*から始まらない場合 例) ssl.example.com
 以下いずれかのTXTレコードに指定の文字列をご設定ください。

- ssl.example.com

外部(グローバルサイン)からアクセスできる状態であることが必要です。

- DNS認証を利用する

※文字列を確認するため、外部（グローバルサイン）からアクセスできる状態であることが必要です。コモンネームが日本語ドメインなどの国際化ドメインの場合と、グローバルIPオプションをご利用の場合、DNS認証は利用できません。

4. プロファイル管理

【ページ認証】

グローバルサインより提供されるドメイン審査コードを、ドメインの特定のディレクトリのテキストファイル内に設置していただくことで、ドメイン（コモンネーム）の利用権を確認する方法です。

ドメイン審査コードは、ページによる認証を選択後、GSパネル上で確認が可能です。

※ドメイン審査コードを確認するため、外部（グローバルサイン）からアクセスできる状態であることが必要です。

ページ認証

ページ認証では、グローバルサインから提供されたドメイン審査コードをドメインの特定のディレクトリのテキストファイルの管理権限を確認し、MSSLのドメインの認証を行います。

当該サイトが外部からアクセスできる状態であることをご確認ください。

ドメイン審査コードを設置する場所

```
<meta name="globalsign-domain-verification" content="xxxxSAMPLEMETADATAxxxx" />
```

上記、ドメイン審査コードを、下記のページのgsdv.txtにテキストファイルとして設置してください。
yourdomain.com/.well-known/pki-validation/gsdv.txt

ページ認証を利用する

※2021年11月28日より、ページ認証で認証されたドメインはワイルドカード証明書の発行に利用できません。また、ページ認証で認証された親ドメインは、子ドメイン（サブドメイン）の証明書の発行に利用できず、各FQDN（サブドメイン）ごとの認証が必要となります。

以下の証明書の発行において、ドメイン認証をページ認証のみで実施する場合、各ドメイン（FQDN）ごとに認証が必要となります。

- (例)
- ①コモンネーム：globalsign.com
 - ②サブドメインSAN：jp.globalsign.com
 - ③サブドメインSAN：example.globalsign.com
 - ④サブドメインSAN：example.jp.globalsign.com

証明書発行時、①～④全てでページ認証が発生します。

4. プロファイル管理

プロファイル管理 - ドメイン管理 もしくは「ドメインの検索とレポートのエクスポート」より、追加したドメインの「承認する」をクリックし、ポップアップ画面に表示される内容に従い準備ができましたら「承認する」ボタンをクリックし、審査を完了させてください。

			DSMS20000006431	<input type="radio"/>	testtesttest00055.com	処理中	2016年08月24日 14:12
			DSMS20000006147	<input type="radio"/>	testtetetetesetets.com	処理中	2016年08月18日 18:12
			DSMS20000006146	<input type="radio"/>	testtetsetse.com	処理中	2016年08月18日 18:10

以下のラジオボタンを用いて、テキストファイルを設置するFQDNとプロトコルの組み合わせ

- https://
 http://

グローバルサインではこちらの場所に設置されたテキストファイルを探します。:

ステップ3

本申請のMSSLのドメインの認証を行う場合は「承認する」をクリックしてください。上記ことを自動で確認します。

cancel 承認する

DNS認証の手順

- 上記認証文字列を下記のいずれかのTXTレコードに設定してください。
- 認証文字列を設定したFQDNを、以下のラジオボタンで選択してください。

- 本申請のドメインの承認を行う場合は「承認する」をクリックしてください。お客様の承認をもとに、上記DNSにグローバルサインが指定した文字列が設定
- 認証文字列が正しく設定されていることを確認後、ドメインが証明書発行に利用

cancel 承認する

4-4 ドメイン認証方法の変更

ステータスが「利用可」でないドメインの認証方法を変更したい場合は、ドメインを一旦削除し、ドメインを再度登録の上、ご希望の認証方法を再度選択してください。

ステータスが「利用可」となっているドメインの場合、「その他」にカーソルを合わせ、「認証方法変更&再認証」をクリックすることで認証方法を変更することが可能です。「認証方法変更&再認証」クリック後の流れについては25ページよりご参照ください。
※ページ認証で認証済みのドメインの場合、ワイルドカード証明書やサブドメイン付FQDNの証明書を発行できないため、認証方法を変更する必要がある際には、上記手順で変更して下さい。

ドメイン名管理		ドメイン名 (ドメインID)
		... ov.base.sslcerts.jp (DSMS21001232269)
		... san.ov.base.sslcerts.jp (DSMS21001232446)
		... sslcerts.jp (DSMS21001232689)

ドメイン名 (ドメインID)	審査レ
...	OV
更新通知メールの設定	OV
技術担当者情報の編集	OV
...	OV
sslcerts.jp (DSMS21001232689)	OV

4. プロファイル管理

4-5 ドメインの更新（再認証）

一度認証したドメインは、企業認証SSL、EV SSLともに397日間、SSLサーバ証明書の発行に利用可能な状態となります。期間終了の90日前から更新（再認証）が可能です。

※2021年9月27日より企業認証SSLのドメイン認証情報の再利用可能期間も397日に短縮されました。

ドメインの再認証

- GSパネルにログイン後、「SSLマネージドサービス」のタブに移動し、「更新が必要なドメイン」か「ドメインの検索とレポートのエクスポート」をクリックしてください。表示されているドメインの一覧から、再認証可能となっているドメインの「更新」アイコンをクリックして進みます。

SSLマネージドサービス ダッシュボード

The dashboard displays three main statistics: 1 updateable certificates, 1 update-required domain, and 0 administrator approvals. It also features buttons for exporting certificates, exporting domain search and reports (highlighted with a red box), and viewing SAN usage status.

ドメイン名管理	ドメインID	プロフィール	ドメイン名	ステータス
 更新	DSMS20000010567	OrderSample K.K.	sslcerts.jp	利用可

4. プロファイル管理

2. 再認証するドメインを確認し、「次へ」をクリックしてください。

ドメイン申請

登録するドメイン名を入力してください。

O: globalsign
L: a
S: a
C: Japan

メール認証とDNS認証をご利用の場合、example.comのような親ドメインのみを登録してください。親ドメイン認証後、サブドメインを含む証明書を発行することが可能です。

ページ認証をご利用の場合、証明書のCommon Nameと同一のFQDNを登録してください。
2way(<https://jp.globalsign.com/support/faq/583.html>) をご希望の場合は、www.ありなし両方のドメインを登録の上、認証してください。

ドメイン名

次へ

3. 技術担当者情報を入力し、「次へ」をクリックしてください。

OS/パネル管理と経理	サーバ証明書 (0/0) - ヤマダ情報システム株式会社	SSLマネージドサービス (0)	その他証明書 (コードサイン/PGP)
-------------	---------------------------------	---------------------	------------------------

SSLマネージドサービス

ツール

- CSR解析ツール

管理ガイド

- SSLマネージドサービス
管理者ガイド

技術担当者情報

自動入力

ユーザ:

技術担当者は、サーバ証明書申請手続き担当者を示します。
※契約者組織と異なる組織の方を登録することも可能です。
技術担当者が契約者と同じ場合は「自動入力」をご利用ください。

● 必須項目

氏名 (姓) :

氏名 (名) :

氏名 (姓) ローマ字 : 半角英数

氏名 (名) ローマ字 : 半角英数

電話番号 : 半角英数

メールアドレス : 半角英数

戻る

次へ

4. 「認証方法選択」のページが開きますので、「メール認証」「ページ認証」「DNS認証」からお好きな認証方法を選択し、「次へ」をクリックしてください。
5. 申請内容を確認し、「完了」をクリックしてください。
6. 選択した認証方法でドメインの再認証を完了してください。

※各ドメイン認証方法につきましては、本マニュアルの25～26ページをご確認ください。

4. プロファイル管理

【ドメインの再認証通知の設定】

ドメインの再認証が可能になったことが分かる通知の有無を設定することができます。通知の設定を有効にした場合、対象のドメインを登録したユーザーにて、期限の90日前、60日前、30日前、21日前、14日前、7日前、当日、7日後に通知が送信されます。※ドメインの登録時に技術担当者も設定された場合、そちらの方にも送信されます。※デフォルトでは全てのドメインの通知が「on」の設定になっています。

ドメインの再認証通知の設定方法

1. GSパネルにログイン後、「SSLマネージドサービス」のタブに移動し、「ドメインの検索とレポートのエクスポート」か、プロフィール内の「ドメイン管理」をクリックします。

The screenshot shows the 'SSL Managed Service Dashboard'. In the profile card, the 'Domain Management' button is highlighted with a red box. The dashboard also shows a 'Domain Search and Report Export' button highlighted with a red box.

2. ドメイン申し込み履歴が表示されるので、設定したいドメイン名の左側にある「その他」をクリックします。

The screenshot shows the 'Domain Registration History' page. The 'Other' button in the first row of the table is highlighted with a red box. The table lists domain registration details.

ドメイン名管理	ドメインID	プロフィール	ドメイン名	審査レベル	ステータス	申込日 (GMT+09:00)	有効期限日 (GMT+09:00)	届出完了日 (GMT+09:00)
	その他	GMO GlobalSign	sslcerts.jp	OV	処理中	2018年04月26日 14:19		
	その他	GMO GlobalSign	sample2.com	OV	処理中	2018年01月17日 14:38		

4. プロファイル管理

3. 「更新通知メールの設定」をクリックし、「更新通知メールの送信」から通知の有無を設定できます。

ドメイン名管理		ドメインID	プロファイル	ドメイン名	審査レベル
 削除	 権限		GMO balSign	sslcerts.jp	OV
 削除	 権限	DSMS20000025208	GlobalSign K.K.	sample2.com	OV

更新通知メールの設定

ドメイン認証情報の有効期限が近づくと、ドメイン再認証手続きを促す更新通知メールが送信されます。更新通知メールの送信可否は、ドメインごとに設定することが可能です。

ドメイン名: sslcerts.jp

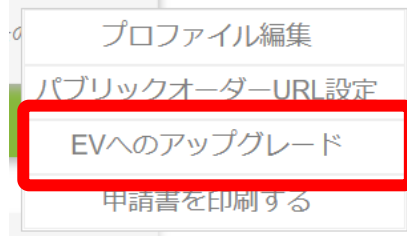
更新通知メールの送信 On Off

閉じる

4.プロフィール管理

4-6 EVへのアップグレード（プロフィール）

登録済みのプロフィールの審査レベルをOVからEVへアップグレードすることが可能です。
※登録内容につきましては本マニュアル4ページから7ページをご確認ください。



その他にカーソルを合わせ「EVへのアップグレード」をクリックし、プロフィール情報を入力後、申請を行ってください。

審査完了後、証明書の申請が可能となります。

※アップグレードの際には再度審査が発生いたします。

4. プロファイル管理

4-7 パブリックオーダーURL設定



GSパネルにログインすることなく証明書の申し込みが可能となるURLの設定が可能です。こちらを申請希望者に伝える事で、管理者がGSパネルから申請する手間を減らすことができます。

パブリックオーダーURLセットアップ

パブリックオーダーURLの利用を設定する

利用する際はチェックを入れてください。

パブリックオーダーURL:

テキストボックスをクリックすると、URLがすべて選択され簡単にコピーすることができます。

アップロードロゴ

任意のロゴをアップロードすることにより、パブリックオーダーURLからアクセスしたページの画像を変更することができます。(デフォルトは、グローバルサインのロゴです。) ファイル形式はGIF、PNGまたはJPGで、200x100以下のサイズのファイルを指定してください。

選択されていません

パブリックオーダーURL 管理者メールアドレス

ここで指定したメールアドレスは、弊社から自動送信されるメールの送信先になり、以下のメールが送信されます。

- 証明書申請受付
- 証明書発行のお知らせ
- 更新のご案内

承認作業を行う管理者様のアドレスをご登録ください。

パブリックオーダーURL画面で入力いただいたメールアドレスにも同様のメールが送信されます。このメールアドレスはお客様のアカウント全体で共有です。お客様のほかのサブファイルでのパブリックオーダーURL設定でも使用されます。

各オプションについては、本マニュアル12ページをご確認ください

オプションなどの設定を行ってください。

オプション 追加項目

コモンネームオプション選択

- オプション無し
- ワイルドカード
- グローバルIP
- SAN (サブジェクトの別名) オプション

追加項目

追加項目	必須	詳細
社員番号	必須	

追加項目のタブでは、申請フォームに独自の入力項目を増やすことができます。例えば、「社員番号」と入力し、必須にチェックを入れると、申請の際に、社員番号の入力が必須となります。

4.プロフィール管理

内容の確認後、発行ボタンを押すとURLが発行されます。

パブリックオーダーURL

パブリックオーダーURLの設定が完了しました。パブリックオーダーは下記のURLでアクセス可能です。

<https://qas-eval1.globalsign.com:10001/bm/public/certificate/poporder.do?domain=081>

テキストボックスをクリックするとURLがすべて選択されますので、コピーしてご利用ください。

※パブリックオーダーURLから申請された証明書の発行には、管理者の承認が必要となります。

4-8 ドメインごとのユーザ権限を設定する

プロフィールID:
 O: Globalsign.K.K
 L: Shibuya-ku
 S: Tokyo
 C: 日本 - JP

証明書申込 登録 **ドメイン管理** ...

EV - 利用可

ドメイン名管理	ドメイン名 (ドメインID)	管理者レベル	ステータス	有効期限 (GMT+09:00)	認証完了日 (GMT+09:00)
	[REDACTED]	EV	処理中	[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]	EV	利用可	[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]	OV	利用可	[REDACTED]	[REDACTED]

「権限」のアイコンをクリックするとポップアップ画面が表示され、ドメインごとにユーザ権限の設定が行えます。

globalsign.com のユーザー権限(SMS)変更

ユーザID	ユーザ名	権限		
PAR03232_hanako	Hanako Yamada	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PAR03232_ssl	SSL Yamada	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

同アカウント内で「担当者」として登録されているユーザが表示されます。アカウントの管理者及び「マネージャ」として登録されているユーザは以下の権限の割り振りを行うことができます。

[証明書申請] : SSLマネージドサービスを利用した証明書の申請を行えます。

[承認権限] : 管理者の承認を経ることなく、証明書の申請と取得を行えます。承認権限がない担当者からのお申し込み分は、管理者およびマネージャアカウントの[申し込み確認待ち証明書一覧]にプールされ、承認後に証明が発行されます。

[証明書失効] : 発行した証明書の失効を行えます。

5. 申し込み確認待ち証明書一覧

5-1 承認待ち証明書

承認権限が与えられていないユーザが証明書の申請を行った場合、承認権限が付与されている管理者アカウント内で承認待ち証明書としてプールされます。

【承認】または【拒否】の選択が可能です。

SSLマネージドサービス ダッシュボード

The dashboard features three summary cards and three action buttons. The first card (green) shows '0 更新可能な証明書' (0 Updatable Certificates) with a thumbs-up icon. The second card (red) shows '1 更新が必要なドメイン' (1 Domains Requiring Update) with a '表示' (Show) button. The third card (orange) shows '1 申し込み確定待ち証明書一覧' (1 Pending Application Certificate List) with a '表示' (Show) button. To the right are three buttons: '証明書の検索とレポートのエクスポート' (Export Search and Report of Certificates), 'ドメインの検索とレポートのエクスポート' (Export Search and Report of Domains), and 'SANの使用状況を表示する' (Show SAN Usage Status).

Navigation tabs include: GSパネル管理と経理, サーバ証明書 (EDI、ヤフー連携証明書含む), SSLマネージドサービス (selected), その他証明書 (コードサイン、PDF), and マネージドPKI.

SSLマネージドサービス

ツール

- CSR解析ツール

管理者ガイド

- SSLマネージドサービス管理ガイド

承認待ち証明書

下記オーダーの承認を行なってください。
承認しない場合は、拒否（非承認）を行なってください。

種別	オーダーID	契約者	サービス名	コモンネーム	プロファイル	契約期間	金額
<input type="checkbox"/> 新規	CEPO181128044533	PAR35739_	SSLマネージドサービス(企業認証SSL)	test.example.com	OrderSample K.K.	1年	¥0

6. ユーザ管理

6-1 ユーザ管理

ユーザ管理は、別タブ【GSパネル管理と経理】内「ユーザ管理」より行えます。

GSパネル管理と経理

サーバ証明書 (ED)・ヤフー提携証明書 SSLマネージドサービス その他証明書 (コードサインング) マネージドPKI

アカウントとファイナンス

登録者情報

- 会社情報修正
- 管理者変更
- ユーザ管理**
- メール一覧
- デフォルトタブの変更

サーバ証明書まとめ買い

- まとめ買い直接購入
- ステータス表示
- 経理担当者変更

ユーザ管理 直接購入 請求書 メール一覧

「編集」ボタンより、登録済みユーザ情報の変更を行えます。

「新規登録」より新たなユーザを作成できます。

※一度作成したユーザを削除することはできません。

ユーザ管理

編集	ユーザID	組織名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	部署名	役職	氏名	氏名ローマ字	メールアドレス	User権限	経理担当者
編集				東京都渋谷区桜丘町					*	*	*****@globalsien.co.jp	管理者	

新規登録

6.ユーザ管理

新規ユーザ登録画面

■ ユーザID	PAR []
必須 ※半角英数	※10文字以内で入力してください 例) [globalisn]と入力した場合、下記のように作成されます。 eflobalisn→PAR01234.globalisn
■ パスワード	[]
必須 ※半角英数	
■ パスワード(確認)	[]
必須 ※半角英数	
■ 組織名	[]
(個人の場合、個人と記入してください)	例)GMOグローバルサイン株式会社
■ 組織名(カナ)	[]
(個人の場合、コロンと記入してください)	例)ジーエムオーグローバルサインカブシキガイシャ
■ 郵便番号	[]
必須 ※半角数字	例)150-0031
■ 住所1(都道府県)	北海道 ▼
	例)東京都
■ 住所2(市区町村)	[]
必須	例)渋谷区
■ 住所3(番地、地名)	[]
必須	例)桜丘町20-1
■ 住所4(ビル名)	[]
	例)OCビル10F
■ 電話番号	[]
必須 ※半角数字	例)03-5728-1551
■ FAX番号	[]
※半角数字	例)03-5728-1552
■ 部署名	[]
	例)マーケティング部
■ 役職	[]
	例)部長
■ 担当者名(姓)	[]
必須	例)山田
■ 担当者名(名)	[]
必須	例)太郎
■ 担当者名(姓)ローマ字	[]
必須 ※半角英字	例)Yamada
■ 担当者名(名)ローマ字	[]
必須 ※半角英字	例)Taro
■ メールアドレス	[]
必須 ※半角英数	※メールアドレスはお間違えのないようご注意ください
■ user権限	マネージャ ▼
■ 言語	マネージャ 担当者
■ 弊社からの案内を希望する	<input type="checkbox"/>
■ 証明書お申し込み確認権限	true <input type="radio"/> false <input type="radio"/>
■ までの買い購入権限	true <input type="radio"/> false <input type="radio"/>

- ・ ユーザ権限 (マネージャー/担当者)
マネージャー
 →アカウント内のすべての証明書の編集が可能。
担当者
 →自分のIDから申請した証明書のみ編集が可能。

※どちらの権限もすべての証明書の閲覧が可能。
 ※担当者権限のユーザーが証明書の申請、承認、失効を行うにはドメイン管理にてドメイン毎に権限を割り当てる必要があります。

戻る

確認

7.サーバ証明書まとめ買い

7-1 サーバ証明書まとめ買い

まとまった金額を証明書申請前にデポジットとして設定いただくと、割引価格で証明書を取得できます。

証明書申請の「お支払方法選択画面」に「まとめ買い残高から差し引く」という項目が追加されます。

まとめ買い割引率の目安は下記の表をご確認ください。

レベル	定価ベース	購入金額	割引率
1	¥ 171,419	¥ 171,419	0%
2	¥ 171,420	¥ 154,280	9%
3	¥ 348,000	¥ 295,800	15%
4	¥ 696,000	¥ 556,800	20%
5	¥ 1,740,000	¥ 1,305,000	25%

※一度にまとめ買いをする金額によって割引率が変動します。

※最低金額18万円以上を事前にご入金ください。

※お支払い方法として後払いをお選びいただくことも可能ですが、80万を超える後払いは事前審査が必要となりますので、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

※ご入金いただいたデポジットの有効期間（利用可能期間）は入金日から1年間です。

※個人のお客様はご利用になれません。

まとめ買い金額の指定は【まとめ買い直接購入】または【まとめ買い購入支援ツール】より行ってください。

【まとめ買い直接購入】

金額を直接ご入力ください。

ご入力いただいた金額内ですべての証明書の取得が可能です。

GSパネル管理と経理

登録者情報

- 会社情報修正
- 管理者変更
- ユーザ管理
- メール一覧
- デフォルトタブの変更

サーバ証明書まとめ買い

- まとめ買い直接購入
- ステータス表示
- 経理担当者変更
- まとめ買い購入支援ツール
- フレックスポイント

まとめ買い直接購入

■ まとめ買い残高	¥ 0
■ まとめ買い金額	<input type="text"/>
支払方法	
■ 支払い方法	<input type="radio"/> 銀行振り込み <input type="radio"/> 前払い 入金締込み予定日 (例)2006/06/01 <input type="radio"/> 後払い <input checked="" type="radio"/> クレジットカード
入金予定日は銀行振り込み前払いの時のみ必ず	

確認

7.サーバ証明書まとめ買い

【まとめ買い購入支援ツール】

サービスやオプションなどを選択し、その合計金額をまとめ買い金額として設定いただけます。各項目を選択後、見積もりを取得する際は「見積もりを取る」、支払方法選択画面へ進む場合は「購入する」をお選びください。

※設定した金額内であれば、選択した商材に限らず、すべての商材を購入可能です。

GS/1ネール管理と経理

登録者情報

- 会社情報修正
- 管理者変更
- ユーザ管理
- メール一覧
- デフォルトタブの変更

サーバ証明書まとめ買い

- まとめ買い直接購入
- ステータス表示
- 経理担当者変更
- まとめ買い(購入)支援ツール**
- クレジット情報

編集	削除	サービス	基本オプション	種別	年数	枚数	オプション				定価	割引金額
							SANオプション	エクストラプレス	期間カスタマイズ	証明書保険		
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	クイック認証SSL	なし	乗り換え	1年	3	0				¥ 104400	¥ 77400
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	企業認証SSL	ワイルドカード	新規	1年	1	0		<input checked="" type="checkbox"/>		¥ 158800	¥ 117600
<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	EVSE	なし	更新	1年	2			<input type="checkbox"/>		¥ 256000	¥ 189400

まとめ買い金額

合計: ¥ 519200 **¥ 384400**

レベル: 2

直接金額を設定し購入を希望の方はこちら